

必ず帰つてくる“という約束の物語

BONNE PIOCHE présente

une production BONNE PIOCHE CINÉMA et PAPRIKA FILMS
en association avec WILD-TOUCH PRODUCTION

L'EMPEREUR

リュック・ジャケ 監督

皇帝ペンギン ただいま

12年の時を経てふたたび、極寒の南極へ。誰も観したことのない、驚きと感動の映像叙事詩。

監督:リュック・ジャケ フランス語ナレーター:ジョン・ラーベル・ヴィルソン 製作:イヴ・ダリド、クリストフ・リュー、エマニュエル・ブリュ、共同プロデューサー:ローラン・ボジャール、ピエール・エマニュエル・フルランク、ヴァンサン・ドマルト
撮影:ジエローム・ブツエ、ヤニック・ジャント、リュック・ジャケ、ローラン・シャリー、ジエローム・メノン 編集:シャルロース・ラブル 音楽:シリル・オーフォード

2017年/フランス/仏語/カラー/ピクタ/85分/原題:L'empereur 提供:ハネット、ユナイテッド・シネマ 配給:ハネット 配給協力:コインテンド・シネマ 延伝:ミクル・ヴォイス 日本語字幕:佐藤康

協力:上田一生、サンマーク出版 後援:山階鳥類研究所、WWFジャパン、国際自然保護連合日本委員会、日本自然保護協会、在日本フランス大使館/アスティチュ・フランス日本本拠、推進:日本動物製水振興協会

A FILM BY LUC JACQUET PRODUCED BY YVES DARONDEAU, CHRISTOPHE LOUBIOT, EMANUEL PROUD CO-PRODUCED BY LAURENT BAUJARD, PIERRE-EMMANUEL FLEURANTIN AND VINCENT DEMARTHE CINEMATOGRAPHY JÉRÔME BOUVIER, YANNICK GENTIL, LUC JACQUET, LAURENT CHALET AND JÉRÔME MAISON EDITING CHARLÈNE GRAVEL SOUND SAMY BARDET, FRANÇOIS CAYARD, THIERRY LEBOIN MUSIC CYRILLE AUFRONT POST-PRODUCTION SUPERVISOR CYRIL CONTEJEAN POST-PRODUCTION LABORATORY LUMIÈRES NUMÉRIQUES X BONNE PIOCHE CINÉMA PRODUCTION IN COPRODUCTION WITH PAPRIKA FILMS

EDITING CHARLÈNE GRAVEL SOUND SAMY BARDET, FRANÇOIS CAYARD, THIERRY LEBOIN MUSIC CYRILLE AUFRONT POST-PRODUCTION SUPERVISOR CYRIL CONTEJEAN POST-PRODUCTION LABORATORY LUMIÈRES NUMÉRIQUES X BONNE PIOCHE CINÉMA PRODUCTION IN COPRODUCTION WITH PAPRIKA FILMS

IN ASSOCIATION WITH WILD-TOUCH PRODUCTION THE WALT DISNEY COMPANY FRANCE AND WILD BUNCH WITH THE PARTICIPATION OF OCS AND FRANCE 3

© BONNE PIOCHE CINÉMA - PAPRIKA FILMS - 2016 - Photo : © Delphine Gisclard

penguin-tadaima.com

wild bunch



BONNE PIOCHE

PAPRIKA

WILD

TOUCH

OCS

E

世界が恋した皇帝ペンギンが、スクリーンに戻ってきた! 命懸けで家族を守り、待望のヒナが初めて海へ旅立つまでを描いた、絆の物語。

アカデミー賞®長編ドキュメンタリー賞を受賞し、世界で2500万人が観た奇跡のドキュメンタリー映画『皇帝ペンギン』(05)から12年、リュック・ジャケ監督が再び南極を訪れた。ぼってりした体をゆさゆさ揺らして歩く大人の皇帝ペンギンとフワフワの羽毛と飛行帽をかぶったような、とびきりキュートなヒナ。本作では、まだ子供の羽毛に覆わ

れている若いペンギンたちの初めての旅に密着し、厳しい自然の中で一生懸命に生きる彼らの姿と親子の絆を感動的に描き出す。時にドキドキハラハラさせられながら、かわいいだけではない彼らの真の姿とともに南極の絶景を迫力の映像で紹介する珠玉のドキュメンタリー。

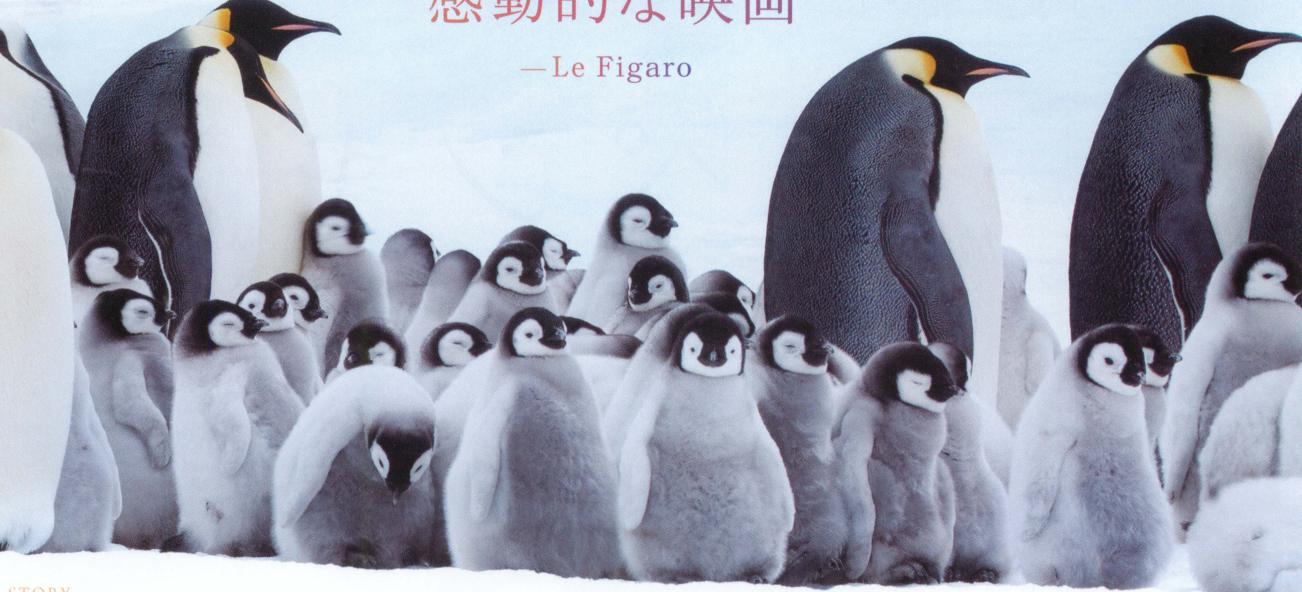
一流スタッフが4Kカメラやドローンを駆使し、
水中撮影では最深記録を達成した圧巻の最先端映像技術!

零下40°C、時速250kmにもなるブリザードが吹き荒れる南極で暮らす皇帝ペンギンは、天敵を避けたため繁殖期には海から100kmも内陸のオアモック(氷丘のオアシス)へ行進する。そして、オスは真冬の2ヶ月間、卵を両足の上に乗せたまま温め続けるなど“世界でもっとも過酷な子育てをする鳥”として繁殖してきた。今回は最新鋭のデジタル4Kカメ

ラとドローンを導入。寒さと水から体を守る滑らかな羽毛や、空の青さそのままが反射する氷山など美しい自然の映像がクリアに映し出される。また、水温マイナス1.8°Cのなか、南極海では史上初となる水深70mの水中撮影に挑んだ。透き通る南極海を飛ぶように狩りをする皇帝ペンギンの雄姿と、氷海下に生息する多様な生物の撮影にも成功している。

息を呑むような映像による、 感動的な映画

— Le Figaro



STORY

産卵を終えた母ペンギンは大切な卵を父ペンギンに渡し、一路海へ。父は母が帰るまでの約120日間、絶食状態で卵を温めて孵化したヒナを守る。経験の浅い父は抱卵に失敗したり、ヒナが天敵に襲われることもある。集団の中でも最長老の40歳の父ペンギンは子育ての大ベテランであり、無事にヒナを母に受け渡すことができた。両親は海とオアモックを往復して、食欲旺盛なヒナを育っていく。夏が近づく頃、両親はヒナに別れを告げる。そして灰色の羽毛が抜け始める頃、ヒナは何かに導かれるように歩き出す。その厳しい旅の末に辿り着いたのは……。

【皇帝ペンギン】Emperor penguin • Aptenodytes forsteri

体長100~130cmのもっとも大きなペンギン。体重は22~40kg。南極圏内で一生を過ごす唯一の大型動物である。ペンギン全種の中で最も寒冷な環境に適応しており、親鳥は、餌を探るため150~1000kmも移動するなど、過酷な環境の中で子育てをしている。



監督:リュック・ジャケ フランス語ナレーション:ランペール・ウィルソン 製作:イヴ・タロン、クリストフ・リュー、エマニュエル・ブリュー
共同プロデューサー:ローラン・ボジョアル、ビエール・エマニエール・フルラタン、ヴァンサン・ドゥマルト

撮影:シェローム・ブヴィエ、ヤニック・シャンティ、リュック・ジャケ、ローラン・シャレー、シェローム・メル
脚本:シャルル・グラヴェル 音楽:シリル・オーフォール
2017年 / フランス / 仏語 / カラー / ピクチャースターツ85分 / 原題: L'empereur 提供:ハピネット、コナインテック・シネマ
配給:ハピネット 配給協力:ユナイテッド・シネマ

宣伝:ミクル・ボイス 日本語字幕:佐藤南 協力:上田一生、サンマーク出版 後援:山陽農業研究所、WWFジャパン、国際自然保護連合日本委員会、
日本自然保護協会、在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランス日本 推薦:日本動物園水族館協会

© BONNE POCHE CINEMA - PAPEKUA FILMS - 2016 Photo: © Disney Pixar
penguin-tadaima.com

【公式キャラクター:べんた】

南極生まれの皇帝ペンギンのヒナ。
寝ぐせがトレードマーク。

Instagramで人気:@penguinhikoki



8.25 [Sat.]
Roadshow

恵比寿ガーデンプレイス内
YEBISU GARDEN CINEMA
0570(783)715 www.unitedcinemas.jp/yebisu/

新宿シネマカリテ
CINEMA QUALITE

ムビチケカード1,400円(税込)
5月26日(土)発売開始予定
劇場窓口にてお買い求めの方に
『皇帝ペンギン』×べんたオリジナル
チケットケースプレゼント! *数量限定・先着順

